

凛として都政改革の先頭に立つ！

「まつば多美子を励ます会」会報

TAMIKO MATSUBA

都議会議員

まつば多美子 通信

2017年6月



# 圧倒的な 実行力、実現力で 東京改革を！

チルドレンファースト  
輝く未来のために！



舛添(前)都知事を追及



善福寺川調節池完成



PT座長として、身を切る改革を実現



私立高校授業料の無償化を実現



女性視点の防災ブックを実現



新聞閲覧台を全小中学校に設置



済美山運動場へ新型サッカーゴールポスト設置を実現



都政改革を前進させた、この1年！

## 人にやさしい街づくり

## 「新型ホームドアの早急な設置実現へ」

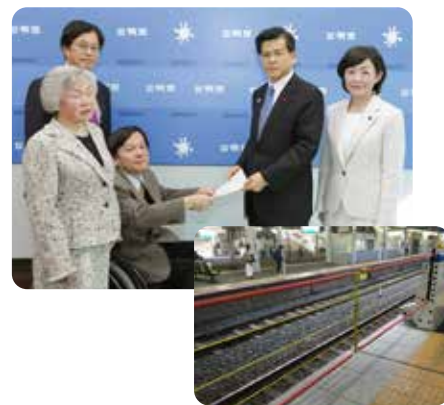
## 石井国土交通大臣へ要望書提出

昨年の東京メトロに続き、本年1月にも埼玉県蕨市で電車の死亡事故が発生。いずれも視覚障がい者がホームより線路上に転落したことによるものでした。2月3日、杉並区障害者団体連合会の高橋博会長、杉並区視覚障害者福祉協会の西山春子理事長とともに、石井啓一国土交通大臣に対して、区内各駅のホームドア設置の要望書を提出いたしました。

席上、高橋会長、西山理事長からは、

「駅のホームは視覚障がい者にとって命の危険との隣り合わせの場所」との切実な声が届けられ、これに対し、石井国土交通大臣は、中央線など多種類の車両に対応する新しいホームドアの設置に「しっかり取り組んでいきます」と応じました。

ホームからの転落件数は、平成27年度で3,518件（このうち視覚障害のある人は94件）発生しました。早期実現へ向け尽力してまいります。



今回、ホームドア設置要望を国交大臣に繋げていただいた、まつば多美子都議には本当に感謝します。駅のホームは誰にでも危険な場所です。最近、視覚障がい者が駅のホームで転落して亡くなる事故が連続して発生しました。痛ましい事故を防ぐためにも、公明党に頑張ってもらい、区内各駅のホームドア設置実現をお願いしたい。

杉並区障害者連合会 会長 高橋博

視覚障がい者にとって駅のホームは死の危険との隣り合わせの場所です。特に中央線沿線は特急等の通過駅も多く人身事故も多発しています。区内各駅はもちろんのこと、視覚障がい者施設が周辺に集まる荻窪駅へのホームドア設置を早期に行って欲しいと思います。まつば都議と公明党に期待しています。

NPO法人視覚障害者福祉協会 理事長 西山春子

要望により  
実現

- 内方線付き点字ブロック未設置のJR阿佐ヶ谷駅、高円寺駅一部、西武線井荻駅、上井草駅への設置決定
- JR東日本・東京メトロ荻窪駅で、視覚障がいのある方への「駅ホームでの声かけ・見守り促進キャンペーン」を実施

## 都民とともに「東京改革」 都議選重点政策を発表

公明党東京都本部は、都民とともに『東京改革』を断じて成し遂げるため、15分野53項目にわたる2017都議選の重点政策を掲げました。

## ①『安全・安心』先進都市・東京へー2020東京大会をめざして

- 「受動喫煙防止条例」の制定
- 視覚障がい者の利用が多い鉄道駅のホームドア整備の拡充

## ②『誰もが生き生き』希望都市・東京へー生活者の現場から

- 宿泊型の産後ケアセンター（現在9カ所）を各区市町村に拡大
- 住み慣れた地域で入所できる地域密着型特別養護老人ホームの増設
- 国が段階的に進めている幼児教育無償化の完全実施
- 小・中学校給食の無償化を推進

## ③『新たな活力』前進都市・東京へー被災地とともに

- 創業希望者と後継者不足で悩む小規模事業者をマッチングする「後継者バンク」の創設
- 商店街の空き店舗を活用して新たに起業したい若者や女性に対して家賃補助制度を導入



## 都議会議員 まつば多美子

公明党東京都本部 女性局長  
都議会公明党 副幹事長、都政改革推進プロジェクトチーム座長  
都議会 環境・建設委員会理事、  
オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会委員

1962年12月31日生まれ、東京都出身

夫1男1女の4人家族

創価大学卒業後、国家公務員等を経て都議会議員3期目

たまちゃんネット <http://www.tamichan.net/>  
まつば多美子はLINE@、Facebook、メルマガでも情報を発信しています。QRコードで簡単に登録できますので、是非ご登録をお願いします。



LINE@



Facebook



メルマガ